

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年 3月 1日

事業所名 スタジオそら東中野

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	6	1	安全確保や感染症対策のため、各児・スタッフが十分に距離をとって活動しています。	3人同時に運動部屋を使用することが無いよう、小部屋に入る時間を必ず設けて密を避けるようにします。
	② 職員の配置数は適切であるか	3	4	フィードバック時にお子様をみる担当者を事前に決めるなど、配置を工夫しています。	人員配置基準を満たしています。スタッフの配置などを工夫し、より安全管理に努めていきます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	3	視覚的に分かりやすい配慮されています。段差や階段がありますが、必要に応じて職員が補助を行っています。	引き続き、補助を行い安全管理に努めます。必要に応じ、バリアフリー化の検討を行います。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	7	0	昼と夕方に定期的に清掃を行っています。	引き続き、日々の清掃と衛生管理に努めます。
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	7	0	個人、チームでケース会議や打ち合わせを綿密に行っています。	引き続き、充実した支援を図ります。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	7	0	いただいた意見をスタッフに共有し、必要があれば改善を行っています。	ホームページに公表しています。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0		スタッフ全員に評価のアンケートを実施しています。スタジオそらHPIにて公表しております。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	1		第三者評価は実施していません。行っていないということを知らないスタッフも多い為、周知してまいります。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	スタジオ内で気になっている事、理解を深めたい事を取り上げ、スタジオ独自の研修を行っています。	引き続き、研修を実施してまいります。
業務改善	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	半年に一度アセスメントを行い、その客観的データを基にスタッフ全員で協議し、支援計画を作成しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	スタジオそらアセスメントを使用し、出来る限りアセスメントを行うスタッフが変わないようにしています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	1		各スタッフの児童発達支援ガイドラインに対する理解が深まる様、周知していくことに努めます。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	活動を行う前に、必ず支援計画の内容を確認してからプログラム作成を行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	主に集団療育でチームでの立案を行うことが出来ています。個別療育でも事前打ち合わせで内容を共有し、必要な部分はチームでの立案を行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	プログラムや担当するスタッフが固定化しないよう工夫しています。	各スタッフが行うことが出来るプログラムを増やすことが必要であると感じます。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	0	個別と集団のどちらに需要があるのかを見極め、バランスなども考慮し作成しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	プログラム中だけでなく、フィードバックに誰が対応するかも含めて役割を決めています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	その日の子どもたちの行動や言葉を客観的に分析し、次回の対応検討を考えています。	その日に居なかったスタッフにどう引き継いでいくかを考えていく必要があります。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	起こったことを客観的かつ具体的に書くことを心がけております。	引き続き、詳細な記録に努めます。
⑳ 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	出来る限り3人以上で実施しています。達成度によっては作成を早める場合もあります。	引き続き、適正なモニタリングを心がけます。	

関係機関や保護者との連携	②1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	管理者が区の事例検討会に参加をしています。	今後も参加し、他機関との関係構築にも留意していきます。
	②2	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	3	電話等での情報交換を行う場合もあります。	新型コロナウイルスの状況も鑑みて、連携について計画していきます。
	②3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	5		対象児がいません。
	②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	6		対象児がいません。
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	書面での情報提供が求められる場合には応じています。	あまり積極的に行われていないため、こちらからのお声掛けも考慮していきます。
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	就学支援シートの記入を積極的に行っています。	引き続き、詳細な記入を行っていきます。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	実際に事業所の様子を見ていただいたり、電話で情報の共有を行っています。管理者が事例検討会に参加し、他事業所との連携に努めています。	引き続き、関連事業所との連携に努めます。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	7		新型コロナの感染状況を見定めて、考慮していきます。
	②9	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	4		協議会の実態を把握し、必要に応じて連携に努めるようにします。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	フィードバックの際に、事業所以外での様子を聴き取りしています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	3	可能な範囲内で家庭内の状況の聞き取りや、相談へのアドバイス等を実施しています。	研修を行い、スキルの向上を図り、実施していけるように努めていきます。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	契約時に管理者が行っています。	今後も、適切な説明に努めます。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	ガイドラインに則って作成し、保護者には十分な説明をしてから同意をいただいています。	どういった観点で支援計画が作成されているかをスタッフに共有し、ガイドライン及び児童発達支援計画の理解を深めます。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	必要があれば管理者およびスタッフが柔軟に面談の機会を設定し行っています。	引き続き、面談の機会を設けていきます。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6		新型コロナウイルスの流行もあり、行っていない状態です。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	時間を空けずに、迅速に対応するよう心掛けています。	今後も、迅速な対応に努めます。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	そら通信にて発信を行っています。	引き続き、発信を行っていきます。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	鍵付きの書庫に保管し、取り扱いに留意しています。	引き続き、厳重な管理に努めます。
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	代弁したり、受容を行っています。傾聴を心がけ、意思の疎通に努めています。	引き続き、より良いコミュニケーションを心がけていきます。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6	例年そらコンサートを実施し、地域の方にも参加してもらえるようにしています。	現在新型コロナウイルスの流行を鑑みて、積極的には行っていません。

非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1	事務室や待合室にマニュアルを常備し、その周知に努めています。	保護者待合室のマニュアルの周知が十分でないため、アナウンスしていく必要があります。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	年間2回の避難訓練を計画し、行っています。	避難訓練に参加したことがない方にもご参加いただけるようにスケジュールを組む必要があります。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	フェイスシートにより、状況の把握に努めています。	引き続き、適切な状況の把握に努めます。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	4	フェイスシートにより、状況の把握に努めています。イベント等で食品を扱う際にはその有無を確認しています。	原則、食物の取り扱いはありません。そのため、指示書もありません。イベントで扱う際は、保護者にその有無を確認しています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	定期的に検討会を設定し、行っています。	検討会を行った日に出勤していなかったスタッフに対しての周知の方法を考える必要があります。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	定期的に研修の機会を設けています。常に子どもたちや保護者のサインを見逃さないようにしています。	引き続き、虐待の防止に努めます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	1	必要な保護者には書面にて説明を行って同意を得ています。身体拘束が必要かどうかを定期的に協議しています。	引き続き、身体拘束に関しての適正な協議を行っていきます。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。